

# ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2005年（平成17年）1月15日号 No. 1317

## 目次

● <b>本格的に動き出した日ロ経済関係</b> .....	遠藤 寿一 1
● <b>キーパーソン</b> .....	10
ウクライナ大統領選、ユーシチェンコ氏が勝利／10	
● <b>エトセトラ</b> .....	10
『ロシア技術ニュースレター』2004年No.2の発行／10	
● <b>ロシア東欧貿易会関連の行事予定</b> .....	11
● <b>CIS・中東欧諸国通貨の為替レート</b> .....	11

## 本格的に動き出した日ロ経済関係

(社) ロシア東欧貿易会 顧問

三菱商事（株）国際戦略研究所 顧問

遠藤 寿一

### はじめに

世界経済の中で今後大きく発展するであろう国々に、ブラジル・ロシア・インド・中国の4カ国を挙げて注意を喚起したのは、2003年10月1日に発行されたゴールドマン・サックスの「投資家レポート」であった。レポートでは、これらの国々で経済が適正に運営されるなら、2039年までにG6（米国・日本・ドイツ・英国・フランス・イタリア）の経済規模を上回ることが出来るであろうと述べている。さらに2050年の予測によると、GDP国別ランキングでは、ロシアは5兆9,000億ドルで、中国・米国・インド・日本・ブラジルに次いで第6位、一人当たりGDPランキングでは、ロシアは4万9,646ドルで、米国・日本・英国・フランスに次いで第5位となり、ドイツ・イタリアを抜くことになる。これら4カ国の頭文字を取ったBRICsは、2004年世界中を駆け巡った。

ゴールドマン・サックスのレポートは、投資家誘致のため書かれたレポートに過ぎないと一蹴されるかもしれない。しかし、ロシア経済に対する世界的関心がかつてなく高まっている